

タカタ - DAAD 研究・留学奨学金 募集要項

タカタ株式会社は DAAD との協力により、タカタ-DAAD 研究・留学奨学金を募集します。

目的

タカタ - DAAD 奨学金は、タカタ株式会社 (<http://www.takata.com/>) からの資金提供により設立された、工学専攻の 3 名の日本人学部卒業生・大学院生および若手研究者が、ドイツの国公立ないしは国から認可された大学や研究機関において、さらに修士ないし博士課程を修了するため、あるいはさらに研究・研鑽をつむための奨学金です。タカタ株式会社は、科学分野における学術的に高度な日独関係の強化に貢献するため、本プログラムにご協力くださいました。次のような目的が対象となります。

- 1) ドイツまたは日本における博士号取得を目的とする、ドイツの大学などでの研究。なお、制度化されたカリキュラムを有する学位課程である大学院共同コロキウム (Graduiertenkolleg, Promotionskollege)、国際博士号プログラム (Internationale Promotionsprogramme)、グラデュエートスクール (Graduate Schools)、マックス・プランク・リサーチ・スクール (Max-Planck-Research-Schools) などでも博士号の取得が可能。
- 2) 学位取得を目的としない研究活動または研鑽。
- 3) 修士号 (Master) 取得あるいは研究課程 (Aufbaustudiengang) を修了するための留学。
- 4) 上記目的に加えて、タカタ株式会社の海外拠点における実務経験をつむためのインターンシップ。インターンの期間は奨学生とタカタ株式会社で個別に交渉されます。タカタ株式会社は以下にあげるドイツと、中央ヨーロッパの 3 カ国にオペレーション、R&D センター拠点を持っています。

ドイツ

- Aschaffenburg
(Sales & Marketing, Engineering, Production of Steering Wheels, Sales Engineering)
- Aschaffenburg-Nilkheim (Test, Production of Airbag, Clock Spring & Plastic Molding)
- Berlin / main European development center which launched in April 2008 (R&D & Engineering)
- Ulm (Test & Engineering, R&D for Seat Belts & Side Airbags)

- ・ Elterlein (Production of Airbag & Plastic Molding, Test)
- ・ Freiberg (Production of Inflator)
- ・ Döbeln (Production of Pressure Vessels for Airbag Inflators)
- ・ Bad Kissingen-Albertshausen (Production of Plastic Molding)

ポーランド

- ・ Krzeszow

チェコ

- ・ Rtyne
- ・ Dolni Kalna

ルーマニア

- ・ Arad
- ・ Sibiu

タカタ株式会社HP <http://www.takata.com/> も合わせて参照下さい。

期間

給費期間は選考委員会による選考会（面接）の際に決定されます。応募の際に、目的や研究計画により、タカタ株式会社のヨーロッパ拠点での数ヶ月のインターンと、7ヶ月から36ヶ月までの希望する留学期間を申請してください。

DAADにより研究留学開始前に、2、4あるいは6ヶ月間のドイツにおける語学研修が義務付けられます。出発は語学研修も含め、2011年4月以降。

12ヶ月以上の奨学金は、最初の1年について奨学金が支給され、成績優秀の場合は研究計画に応じて延長されます。

給付

奨学金の月額、奨学生の学歴に応じます。

750ユーロ（学部卒以上）

1,000ユーロ（博士号取得のための研究を行っている者）

さらに健康保険料、他の機関から支払われない場合に限り旅費（1850ユーロ、滞在期間が1年以下の場合は1250ユーロ）、研究補助費（1年に260ユーロ）、場合によっては家賃補助や家族手当も支給。語学研修の期間と費用については個別に決定されます。

注意：支給額はすべて前年度の金額。

応募資格

- 1) 工学分野専攻の成績優秀な学部卒業者・修士修了者あるいはポスドク(奨学金支給開始時)。
- 2) 大学院の課程に在籍中であるか、最終の卒業、修了もしくは学位取得時から2年以上たっていない者。
- 3) 日本で博士号取得をめざす者は、日本の大学で博士課程(後期)に在籍あるいは進学が保証されていること。
- 4) ドイツの大学で受入機関・受入教員との取り決めによる受入教員の個別的な指導にもとづく研究をめざす応募者は、応募者の研究計画を明示的に了承し、受入機関における研究の場を保証する受け入れ承諾書が必要。この承諾書はドイツで博士号取得を目的とする場合は、ドイツの指導教授からのものであること。
- 5) 制度化されたカリキュラムを有する学位課程(マスターコース、あるいは博士号取得コース)での学位取得をめざす応募者は、当該学位課程の入学許可書を提出する。現時点で入学資格を満たしていない者は、奨学金支給開始時までに入學許可の可能性があると当該学位課程からの証明書が必要である。おそくとも奨学金支給開始時には、希望の学位課程の入学許可書の提出が必要。
- 6) 選考基準としては、これまでの学業成績に加えて、留学計画が、専門的にも個人的にも動機付けられた、説得力のあるものであること、あるいは、研究・研鑽計画およびタイムスケジュールが、受け入れ先の研究機関の指導教授と十分に打ち合わせられた説得力ある詳細なものであることが重要である。
- 7) ドイツ語能力は一般に必要とされるが、研究の目的と学科によって求められる程度は異なる。受け入れ研究機関において英語の使用が可能な場合、すぐれた英語能力の証明があればよい。場合により、研究奨学金支給開始の前にドイツ語研修参加が可能かどうかを DAAD が決定する。
- 8) 奨学金支給開始の時点で32歳以下。
- 9) 日本国籍を有する者、あるいは永住ビザ所持者。
- 10) 応募の時点で1年以上ドイツに滞在している者は対象とならない。